

## 『やってみたら・・・』

校長 杉村 英樹

1学期の始業式で、「まけず くじけず あきらめず やってみよう」を合い言葉として、北久米っ子が「なかよく かしく たくましく」成長していくことを楽しみにしていますと子どもたちに話しました。1学期を振り返ってみると、5月開催の運動会に向けて、工夫して準備を進めたり、熱心に練習に励んだりする姿が見られ、運動会本番は大いに盛り上がりました。また、松山市総合体育大会（すもうの部・水泳の部）に向けて、自己の力を高めようと仲間と励まし合いながら、真剣に練習に取り組んだ子どもたちも大勢いました。ほかにも、授業中に進んで手を挙げたり、役割を引き受けたり、協力してやり遂げたりするなど、「やってみよう」と自らチャレンジしたことが様々あったと思います。そういったチャレンジを通して『やってみたら案外楽しかった』という思いや、『やってみたらできた』という成功体験が積み重なり、子どもたちは確実に成長しています。

生活をしていると、初めてのことや苦手なこと、内心はやりたくないこと、やってみなければどうまうかないことなどがあります。そういうときこそ、「まけず くじけず あきらめず やってみよう」と自分に言い聞かせ、前向きに取り組んでほしいと思います。失敗を恐れなくて、結果のみにとらわれず、自分の力や可能性を信じ、やり続ければ、その努力は必ず実るはずで。私たち教職員を含む大人は、子どもたちがやってみようと思えるよう励まし、やろうとしていることを認め、チャレンジを見守り、その努力を褒めて、子どもたちの笑顔をより増やしていけるとよいと思います。

44日間ある夏休み中、けがや事故がなく、健康で明るく過ごせることを第一とし、長期の休みだからこそ、家庭で過ごす時間が長いからこそできることを子ども自身が考え、進んでやってみてほしいと思います。そして、『やってみたらいいことがあった』と思えることが一つでも増えるよう願っています。

## 「令和6年度の研究について」

研修主任 玉川 正剛

北久米小学校では、「地域と共に生き、自ら考え、学び合う児童の育成」を研究のテーマとし、子ども一人一人が主体的に学習に取り組んだり、友達との学び合いを通して学習を深めていったりすることができるよう授業を目指しています。今年度も昨年度に引き続き、「松山の授業モデル」を基にして作成した「北久米小の授業モデル」を通して、「できた」「分かった」という児童の声をよりたくさん聞くことができるように、教職員の授業力が向上するように取り組んでいきます。そのために、「みつばちタイム（小集団での話し合い活動）」の時間を十分に確保するように努めていきます。「みつばちタイム」という呼び名は、「仲間同士が情報交換するために額を寄せ合う姿、みんなで力を合わせる姿」をイメージしてできた言葉です。この「みつばちタイム」の充実を図り、友達と協力しながら学びを深めていく授業を目指します。また、紙やホワイトボードといったアナログの利点とタブレット端末などのデジタルの利点を理解して、より効果的に使い分ける「アナログとデジタルのベストミックス」という視点で、授業改善を行っていきます。昨年度からコミュニティ・スクールを導入し、保護者の方や地域の皆様のお力を、たくさんお借りしました。ありがとうございました。今年度も「地域と共にある学校」を目指していきますので、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。すでに、市内でも夜市が開催され賑わいを見せています。また、夏祭りや地域でのラジオ体操も予定されています。①～③の内容をチェックしていただき、お子様がトラブルを起こさぬよう、巻き込まれぬよう、確認と見守りをお願いします。

## ① 金銭や物品について

- 買い与えた覚えのないゲームやカード、おもちゃがありませんか？
- アプリ内、またはゲーム内課金ができる場合、その状況を知っていますか？
- 子どもが、今、自由に使えるお金をいくらもっているかを知っていますか？
- 大人が、財布などを簡単に子どもの手の届くところに置いていませんか？

## ② SNSや動画視聴、ゲームの利用について

- スマホやタブレット、ゲームなどの利用について、ご家庭でルールを決めていますか？
- SNS(LINEなどのメッセージ機能)の使用状況及び会話内容を知っていますか？
- 動画サイト(YouTube等)でどのような内容を視聴しているかを知っていますか？
- ゲームをどのくらい利用しているかを知っていますか？

## ③ 生活全般について。

- 子どもの起床、就寝時刻を知っていますか？
- 外出先で、誰と何をしているかを知っていますか？

もちろん、子どもたちのプライバシーも尊重しないとはいけません。しかし、金銭やSNSに関することは大きなトラブルに発展する場合も多いのが実情です。実際に、北久米小学校でもトラブルになっていることもありました。SNS等、ネット利用については、先日配付した「ネット利用について」をご参照ください。「うちの子に限って…」や「そんなことをしているなんて…」とならないよう、可能な範囲で見守りをお願いします。

## 北久米っ子の服装や持ち物等についての約束

服装や持ち物についての認識を再確認したいと思います。北久米小学校は標準服を定めていませんが、何でも自由ということではありません。身に着けてきたり持ってきたりする物が、学習や学校生活の妨げとなる場合もあります。学校では1学期に次の内容について指導していきます。ご家庭におかれましても、今一度、ご確認ください。

### ○ 服装について（夏季）

- ・ 学習や活動にふさわしい服装を考えましょう。
- ・ 校内で一番上の服の左胸に名札を付けます。校内では防犯笛は服の中に入れます。
- ・ 頭髪については、パーマ、染色、脱色等はしません。
- ・ 暑い時季に、タンクトップ、キャミソール等、肩口や肌を大きく露出している服を着ないようにしましょう。（不審者からの被害を避けるため。）
- ・ 体育の時間は体操服を着ます。洗い替えが無い場合は、無地のTシャツ・短パンを着ます。（ワンポイント等は構いません。華美でないものにしてください。）

※ なお服装などについて、健康上の理由等で配慮が必要な場合はご相談ください。

### ○ 持ち物について

- ・ 学校生活の目的にふさわしい筆箱、文房具、靴等を使用します。
- ・ キーホルダーやストラップ等の飾りは、ランドセル、筆箱、名札等に付けません。（お守りは付けても構いません。）